

Gallery Show

今井 俊介、谷越 亮太、土肥 美穂、早川 祐太
Shunsuke Imai, Ryota Tanikoshi, Miho Dohi, Yuta Hayakawa

2013年6月1日(土)～6月29日(土)
火曜日～土曜日 12:00 - 19:00

アーティストレセプション：
2013年6月1日(土) 18:00 - 20:00



谷越 亮太 "stars #1"
2013, chromogenic print

この度、6月1日(土)より、ハギワラプロジェクトにて4名の作家による Gallery Show を開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

今回の展覧会では、早川祐太の彫刻の新作や、今井俊介の近作を発表するとともに、初展示となる谷越亮太の写真作品とドローイング、及び土肥美穂の彫刻を展示いたします。

初日1日(土)は18時より、ささやかながら作家を迎えてオープニングパーティーを開催致します。こちら是非ご参加くださいませ。

今井 俊介

1978年福井県生まれ。2004年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻油絵コース修了。旗や布などの柄をモチーフに使いながら、絵画の平面性とその可能性をテーマとする。軽やかさをもちつつも観る者の物語を拒む空虚さが広がるようなペインティングを制作。主な展覧会に、「surface / volume」LOOP HOLE (東京、2012)、「new piece」リマスタ (東京、2011)、「SSS - expanded painting」MISAKO & ROSEN (東京、2010)、「emptiness」遊戯室 (中崎透 + 遠藤水城)、(水戸、2008)、「Red」ZAIM (横浜、2008)、「CET04」INO ピル (東京、2004)、「empty eyes」ZENSHI (東京、2007) など

早川 祐太

1984年岐阜県生まれ。2010年武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻彫刻コース修了。水や重力など、私たちの周りに存在する「現象」に焦点をあて、彫刻やインスタレーションに取り込んでいる。どこかユーモラスでありながら凛とした存在感を持つ、観るものに新たな感覚をよびおこす作品を発表している。主な展覧会に、「複合回路 Vol.2 早川祐太」(2010年 gallery αM, 東京)、「Essential Ongoing」(2011年、新・港村ギャラリー、横浜)、「5th Dimension」(2010年、フランス大使館旧庁舎、東京)、「from/to #5」(2009年、Wako Works of Art, 東京)、「Re:Membering - The Next of Japan」(2009年、Alternative Space LOOP, ソウル、韓国) など。

谷越 亮太

1985年北海道生まれ。2008年武蔵野美術大学造形学部油絵学科卒業。ネットに氾濫する粗い画像を作品に取り入れ、イメージの生成や関係性を探求しながら、絵画や写真など様々なメディアを通してその意味を問う作品を制作。今回は、自身のペインティングを撮影した写真と、ドローイングを展示する。

土肥 美穂

1974年奈良県生まれ。2002年東京造形大学大学院彫刻科研究生修了。以前は木彫の作品を制作していたが、近年更に表現の幅を広げ、布や真鍮を使った作品を発表。女性らしいおやかさがあっても、強度がある彫刻に展開させている。

会 期：2013年6月1日(土)～6月29日(土)
火曜日～土曜日 12:00 - 19:00 (日、月、祝日休廊)

会 場：ハギワラプロジェクト
東京都新宿区西新宿 3-18-2 サンビューハイツ新宿 101 〒160-0023
京王新線初台駅東口より徒歩5分/新宿駅南口より徒歩15分/都営大江戸線都庁前より徒歩12分
T / F: 03 6300 5881 E: info@hagiwaraprojects.com
www.hagiwaraprojects.com